

いわて平泉米だより

令和5年3月号

今後のASIAGAPにかかる 方向性を協議

JAブランド米部会は2月9日、JA管内のASIAGAPの取り組みを振り返る会議を開きました。

県農業普及技術課の職員より、国際目標として持続可能な開発目標（SDGs）が提唱された事によるGAPへの影響や、現在のGAPを巡る情勢について説明を受けた他、2年以上GAPに取り組む生産者を対象にしたアンケート結果を共有しました。

アンケートの集計の結果、GAPを導入して管理責任者の力量向上が確認できたといった回答が見られ、今後も継続的に農場運営の改善を行い、顧客満足度の向上を目指すことを確認しました。

GAPとは？…Good Agricultural Practices（農業生産工程管理、直訳すると『いい農業の実践』）の略。農業や農機具などの備品の整理整頓から生産履歴の記帳といった農業生産において、食品安全だけでなく環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取り組みです。



会議の様子